

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	1022	社会教育推進経費	会計	01	一般会計
基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	01	社会教育総務費
担当部課名	教育委員会阿山分室			細目	101
作成者氏名	森本勝美	連絡先	43-0154	細々目	01
					社会教育推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
社会教育事業の事務執行		事務補助員を雇用することにより、社会教育が綿密に計画でき、すすめられる。				
本年度事業内容	阿山公民館教室及び図書室の事務補助員賃金・保険料。その他社会教育推進かかる事務経費。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,441	2,417	2,417
	委託料			
	賃金	1,233	1,348	1,348
	その他	1,208	1,069	1,069
合計(A+B)		3,881	3,857	3,857
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	9	5	5
一般財源		3,872	3,852	3,852
上記①～③に関する特記事項				
臨時職員1人				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
事務補助員勤務日数	日	204	220	220			
公民館主催教室数	教室	6	6	6			
図書館開館日数	日	306	306	306			
図書貸出冊数	冊	3845	9300	9500			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
公民館主催教室数	事務補助員を雇用することにより教室の維持ができたことを評価する指標として教室数を設定しました。	教室	6 目標 ()	6	6
図書貸出冊数	図書室の利用度を示す指標として、図書貸出冊数を設定しました。	冊	3845 目標 ()	9300	9500

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

17年11月から会館した図書室の準備及びその運営が事務補助員によりスムーズにできたが、AV資料の貸出し業務については、初めてのことで不慣れなこともあり準備が遅れました。遅れを取り戻すよう18年度において努力しています。

評価	必要性	4	新しくオープンした文化センターにより文化センターを拠点とした生涯学習の機会と場所の提供を図りました。また、公民館図書室の準備、オープンに取り組み、ボランティア団体とも連携して読み聞かせの会も立ち上げることができました。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		